



平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月12日
東

上場会社名 オーエス株式会社 上場取引所
コード番号 9637 URL <http://www.osgroup.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 芳樹
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森口 武士 (TEL) 06-6361-3554
四半期報告書提出予定日 平成26年12月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第3四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	5,795	9.2	389	4.6	270	9.0	159	23.7
26年1月期第3四半期	5,307	3.1	372	△16.4	248	△19.7	129	△18.2

(注) 包括利益 27年1月期第3四半期 175百万円(9.1%) 26年1月期第3四半期 160百万円(△7.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	10.08	—
26年1月期第3四半期	8.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年1月期第3四半期	31,120	8,494	27.3
26年1月期	30,822	8,401	27.3

(参考) 自己資本 27年1月期第3四半期 8,494百万円 26年1月期 8,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年1月期	—	2.50	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,290	15.8	600	△3.2	430	△4.6	250	—	15.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年1月期3Q	16,000,000株	26年1月期	16,000,000株
② 期末自己株式数	27年1月期3Q	155,182株	26年1月期	150,717株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年1月期3Q	15,846,786株	26年1月期3Q	15,851,729株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年2月1日～平成26年10月31日)におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に緩やかな回復基調がみられたものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費は足踏み状態にあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループは、安定した経営・財務基盤を実現するべく、本年3月、首都圏に事業用賃貸マンションを新たに取得するなど、最適な事業ポートフォリオの構築に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の成績は、映画事業がヒット作品に恵まれたことにより、売上高5,795,813千円と前年同期に比べ488,214千円(9.2%)の増収となり、営業利益は389,902千円と前年同期に比べ17,009千円の増益、経常利益は270,639千円と前年同期に比べ22,380千円の増益、四半期純利益は159,727千円と前年同期に比べ30,615千円の増益となりました。

経営成績をセグメント別でみると次のとおりであります。

(映画事業)

映画事業におきましては、邦画作品では「名探偵コナン 異次元の狙撃手(スナイパー)」「STAND BY ME ドラえもん」「るろうに剣心 京都大火編/伝説の最後編」、洋画作品では「アナと雪の女王」「アメイジング・スパイダーマン2」「マレフィセント」などの話題作を上映いたしました。特に、「アナと雪の女王」は記録的大ヒットとなり、当社においても収益に大きく貢献いたしました。

設備面におきましては、映画以外のデジタルコンテンツの拡充を図るため、本年9月、「OSシネマズミント神戸」に衛星中継用アンテナを設置いたしました。また、当社が運営するオンラインチケット購入サイトをリニューアルし、座席のピンポイント選択を可能にするなど、利便性の向上にも努めてまいりました。

さらに、社会貢献活動といたしまして、「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」に参画し、特別上映会の実施を通じて「心豊かな地域文化の確立」に取り組んでまいりました。

売上高は2,314,200千円と前年同期に比べ304,431千円(15.1%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は127,550千円と前年同期に比べ33,176千円の増益となりました。

(不動産賃貸・販売事業)

不動産賃貸業界におけるオフィスビル市況は、景気の回復局面を下支えに、企業の拡張・移転需要が拡大の傾向にあり、本年10月末の空室率が大阪ビジネス地区で8.1%、東京都心5区で5.6%と、両地区ともに改善いたしました。しかしながら、賃料水準の動向につきましては、東京都心5区で回復の傾向がみられる一方、大阪ビジネス地区では依然厳しい状況が継続しております。

このような状況のなか、不動産賃貸事業におきましては、東京の保有ビルにおいて空調更新工事等を実施するなど、資産価値の向上に努めてまいりました。当第3四半期連結累計期間末における保有ビルの稼働率は99.3%となったものの、賃料水準につきましては、回復までには至っておりません。

なお、本年3月に取得した事業用賃貸マンション「メルヴェーユ馬込」は、順調に稼働しております。

不動産販売事業におきましては、共同事業者と推進しております分譲マンション「プレージアブラン東園田」の売上を計上しております。また、本年11月竣工の分譲マンション「プレージア守口松町 ザ・レジデンス」につきましては、完売に向け、鋭意取り組んでおります。

売上高は2,224,498千円と前年同期に比べ123,141千円(5.9%)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は昨年12月に賃貸ビルを譲渡した影響もあり、594,836千円と前年同期に比べ74,434千円の減益となりました。

(ホテル事業)

大阪のホテル業界は、訪日旅行者や国内旅行者の増加により、堅調に推移しております。

「梅田OSホテル」におきましては、一部客室の改装を行い、快適な空間の提供に取り組んでまいりました。また、旅行代理店への販売促進活動を積極的に行うとともに、インターネット宿泊サイトにおいて、需要動向を見据えた販売管理を徹底してまいりました。

売上高は543,922千円と前年同期に比べ35,365千円(7.0%)の増収となり、諸経費の削減に努めた結果、セグメント利益(営業利益)は141,633千円と前年同期に比べ51,758千円の増益となりました。

(飲食事業)

飲食業界は、エネルギーコストや食材原価の上昇、人手不足の深刻化など、厳しい経営環境が継続しております。飲食事業におきましては、一部店舗において天候不順の影響を受けたものの、メニューの創意工夫や接客力の向上に努めてまいりました。

売上高は301,355千円と前年同期に比べ3,483千円(1.2%)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は12,390千円と前年同期に比べわずかながら減益となりました。

(その他事業)

アミューズメント業界は、スマートフォン向けソーシャルゲームの市場の拡大に押され、厳しい状況となっております。

このような状況のなか、「namco三宮店」は堅調に推移した結果、売上高は411,836千円と前年同期に比べ21,794千円(5.6%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は64,809千円と前年同期に比べ6,185千円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は298,404千円の増加となりました。これは主に現金及び預金1,603,145千円の減少がありましたが、有形固定資産991,015千円、販売用不動産841,228千円の増加によるものであります。

負債につきましては、204,477千円の増加となりました。これは主に短期借入金2,470,045千円及び未払法人税等130,310千円の減少がありましたが、長期借入金2,818,253千円の増加によるものであります。

純資産につきましては93,926千円の増加となりました。これは主に利益剰余金80,492千円及びその他有価証券評価差額金15,747千円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月期の連結業績予想につきましては、平成26年3月17日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,373,859	770,713
売掛金	278,982	232,035
販売用不動産	2,217,524	3,058,752
商品	10,817	10,933
貯蔵品	4,115	3,778
前払費用	87,048	115,316
繰延税金資産	48,792	55,346
その他	41,008	12,791
貸倒引当金	△7,374	△7,427
流動資産合計	5,054,774	4,252,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,372,512	22,074,347
減価償却累計額	△11,524,433	△11,920,494
建物及び構築物(純額)	9,848,079	10,153,852
機械装置及び運搬具	311,813	308,706
減価償却累計額	△135,812	△150,869
機械装置及び運搬具(純額)	176,001	157,836
工具、器具及び備品	909,661	940,009
減価償却累計額	△660,799	△682,114
工具、器具及び備品(純額)	248,862	257,894
土地	13,692,798	14,387,172
有形固定資産合計	23,965,741	24,956,756
無形固定資産		
ソフトウェア	82,134	136,167
その他	9,935	9,510
無形固定資産合計	92,069	145,678
投資その他の資産		
投資有価証券	427,604	481,774
長期前払費用	206,155	205,328
差入保証金	611,992	613,799
建設協力金	423,336	429,073
繰延税金資産	10,504	10,741
その他	17,471	17,912
投資その他の資産合計	1,697,065	1,758,629
固定資産合計	25,754,876	26,861,064
繰延資産		
社債発行費	12,424	7,174
繰延資産合計	12,424	7,174
資産合計	30,822,074	31,120,479

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	179,821	144,942
短期借入金	6,071,831	3,601,786
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払金	54,337	126,392
未払費用	321,722	262,108
未払法人税等	219,518	89,208
未払消費税等	10,592	103,075
賞与引当金	37,752	81,740
その他	549,663	468,740
流動負債合計	7,945,240	5,377,993
固定負債		
社債	1,200,000	1,200,000
長期借入金	7,393,893	10,212,146
長期預り保証金	2,123,047	2,087,898
繰延税金負債	1,556,520	1,521,599
再評価に係る繰延税金負債	1,947,585	1,947,585
退職給付引当金	254,732	278,274
固定負債合計	14,475,779	17,247,504
負債合計	22,421,019	22,625,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,506	66,506
利益剰余金	5,008,508	5,089,000
自己株式	△93,697	△96,010
株主資本合計	5,781,317	5,859,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,511	117,258
土地再評価差額金	2,518,226	2,518,226
その他の包括利益累計額合計	2,619,737	2,635,484
純資産合計	8,401,054	8,494,981
負債純資産合計	30,822,074	31,120,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
売上高	5,307,598	5,795,813
売上原価	4,298,612	4,769,060
売上総利益	1,008,985	1,026,752
一般管理費	636,092	636,849
営業利益	372,893	389,902
営業外収益		
受取利息	6,803	6,988
受取配当金	3,561	3,751
協賛金収入	3,047	3,047
その他	5,474	8,371
営業外収益合計	18,887	22,159
営業外費用		
支払利息	129,394	124,465
その他	14,126	16,956
営業外費用合計	143,521	141,422
経常利益	248,259	270,639
特別利益		
投資損失引当金戻入額	1,724	-
特別利益合計	1,724	-
特別損失		
固定資産除却損	18,753	10,872
OSシネマズ神戸ハーバーランド開業費用	17,586	-
特別損失合計	36,339	10,872
税金等調整前四半期純利益	213,644	259,767
法人税、住民税及び事業税	107,133	150,457
法人税等調整額	△22,600	△50,417
法人税等合計	84,532	100,040
少数株主損益調整前四半期純利益	129,111	159,727
四半期純利益	129,111	159,727

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	129,111	159,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,759	15,747
その他の包括利益合計	31,759	15,747
四半期包括利益	160,871	175,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,871	175,474
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,009,768	2,101,357	508,557	297,872	390,042	5,307,598	—	5,307,598
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	115,864	—	—	—	115,864	△115,864	—
計	2,009,768	2,217,221	508,557	297,872	390,042	5,423,462	△115,864	5,307,598
セグメント利益	94,373	669,271	89,875	12,783	58,624	924,927	△552,034	372,893

(注) 1. セグメント利益の調整額△552,034千円には、セグメント間取引消去△2,325千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△549,709千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,314,200	2,224,498	543,922	301,355	411,836	5,795,813	—	5,795,813
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	107,560	—	—	—	107,560	△107,560	—
計	2,314,200	2,332,058	543,922	301,355	411,836	5,903,373	△107,560	5,795,813
セグメント利益	127,550	594,836	141,633	12,390	64,809	941,220	△551,318	389,902

(注) 1. セグメント利益の調整額△551,318千円には、セグメント間取引消去△1,163千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△550,154千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。